

# 自分らしく



## 吉江尚子

東京大学生産技術研究所  
[153-8505] 東京都目黒区駒場4-6-1  
教授, 東京大学男女共同参画室長, 博士(工学).  
専門は環境高分子材料.  
yoshie@iis.u-tokyo.ac.jp  
<http://yoshielab.iis.u-tokyo.ac.jp/>

数年前から、顔見知りの子供に出会ったときにおける言葉選びに躊躇している。以前なら女の子にはかわい、男の子にはかっこいいが定番だったが、今は性別の色のついた言葉を避けたいと思うようになった。ティーンエイジャーぐらいの年齢になれば、女の子にかっこいい、男の子に素敵と、あえて逆の性に使われることの多い言葉を使うこともできるが、小さな子供の場合、「女の子にかっこいいなんて変な人」と誤解されそうで、結局、声を掛けられずに通り過ぎてしまうことになる。

最近、テレビCMなどで、家事や育児を女性の役割と決めつけるような表現がしばしば物議をかもしている。こんな話を聞いて、時々、「女らしさ」と「男らしさ」に思いを巡らせる。女らしさと男らしさを完全には否定しきれない自分がある。しかし、男女共同参画の活動では、役割や得意分野を性別で区別することを最も嫌う。生物学的には性による違いは確かにあるが、性別ごとの得意分野の認識や役割分担は社会的・文化的に作られた側面が強いと言われている。実際、「ジェンダー」は生物学的な性別に対して、社会的・文化的に作られた性別を表す言葉である。家事や育児に頑張り、家族を支える主婦を素敵だと思う。でもそれと同じくらいに、家事や育児を引き受ける主夫も素敵だ。自分に対して他人に対しても、女らしさや男らしさではなく、「自分らしさ」にこだわりたい。

「リケジョ」という言葉が浸透して久しいが、分野によって、大学生の男女比に依然として大きな偏りがある。とくに工学分野では女子学生の割合はわずか15%、理学でも3割以下にとどまっている。一方で、小学生の好きな科目の調査<sup>1)</sup>を見ると、女子では18%が算数を、9.3%が理科を最も好きな科目として挙げている。男子では算数が32%、理科が9.5%であるので、算数には男女差があるものの、理科には男女差は見られない。さらに、国語と社会を最も好きとする割合の合計で文系への志向を推し量ると、女子は21% (国語17%、社会4%)、男子は15% (国語7%、社会8%) で、男女とも算数好きと理科好きの合計で考える理系志向より低く、小学生には理系のほうが人気があるようである。

では、女子学生の大学の理工系に対する不人気の原

因はどこにあるのだろうか。女性の教育や学びを特集として詳細分析した令和元年の男女共同参画白書<sup>2)</sup>によると、女子学生の理系回避の理由は、理数系科目の成績ではなく、周囲の女子の進学動向、親の意向、ロールモデルの不在などの環境によるものと結論付けられる。理系は男子のほうが得意という漠然としたイメージや、初等中等教育における教員の性別の偏り(国語や英語に女性教員が多く、数学や理科で少ないなど)、身近に理系の職業に就く女性が少ないなどの環境的要因で、理科好き女子の理系選択が妨げられているとしたら、大変残念である。本来の「自分らしさ」を基準にのびのびと進路選択できるように、私もリケジョとして小中高生に科学の楽しさを伝えていきたい。

政治家などによる女性を蔑視した発言や行動が後を絶たず、世の中は何も変わらないと残念に思うこともしばしばである。しかし一方で、変化の兆しも見えてきている。JAL機内やディズニーランドなどで、アナウンスのLadies and gentlemanがHallo everyoneなどに置き換えられ、テレビCMでも家事のシーンに男性タレントが起用されることが増えてきた。NHK Eテレでは、王子様の姿をした女の子とお姫様の姿をした男の子のイラストを印象的に使った子供のためのジェンダー・LGBTQ教育番組が放送されていた。ジェンダーに対する配慮や教育が、最近とくに加速度的に進んでいるように感じる。積極的なジェンダー教育を受けて育った子供たちが大人になり、社会の中核を担うようになれば、社会全体が自然と大きく変わるであろう。でも、すでに育ってしまった私たち大人がそれまで待っている必要はないと思う。社会は女性やマイノリティをエンカレッジする方向に動いている。周囲からのジェンダーによる色付けを気にせず、「自分らしさ」を信じて進んでみる。そうしていたら、違った世界が見えてくる気がする。

## 文 献

- 1) 学研教育総合研究所, 小学生白書Web版 2020年8月調査  
<https://www.gakken.co.jp/kyouikusuken/whitepaper/202008/index.html>
- 2) 内閣府男女共同参画局, 令和元年度男女共同参画白書